



大規模集会における感染リスク： 解決志向リスク学の実践



大阪大学感染症総合教育研究拠点
特任教授(常勤) 村上 道夫

参加
無料

申込
不要

オンライン
(YouTube)

2021年8月27日(金) 19:00-20:00

講座概要

スポーツなどの多くの人が集まるイベント(大規模集会; マスギャザリングイベント)は、日々の生活の楽しみとして格別な意味を持つものです。その一方で、新型コロナウイルス感染症のリスク評価と管理もまた重要です。本講義では、東京オリンピック開会式をはじめとした大規模集会における観客の感染リスクや対策の効果評価の事例を紹介し、社会における新型コロナウイルス感染症対策のあり方について考えます。

講師

村上 道夫 氏

大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授(常勤)

博士(工学)。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了後、科学技術振興機構研究員(東京農工大学)、東京大学大学院工学系研究科リサーチフェロー、東京大学総括プロジェクト機構「水の知」(サントリー)総括寄付講座特任助教、同講座特任講師、東京大学生産技術研究所特任講師、福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座准教授を経て、2021年8月より現職。専門はリスク学。大規模集会における感染リスク評価などを実施。著書に「基準値のからくり—安全はこうして数字になった」(講談社ブルーバックス、共著)など。

CiDER (感染症総合教育研究拠点) とは

大阪大学は、新型コロナウイルス感染症の流行で浮き彫りとなった日本が抱える課題を踏まえ、新型コロナウイルス感染症への対策のみならず、将来の感染症の脅威から人々の「いのち」と「暮らし」を守ることを目指し、2021年4月に感染症総合教育研究拠点(Center for Infectious Disease Education and Research (CiDER))を設置しました。CiDERでは、研究型総合大学の利点を活かし、感染症克服のための「オール阪大」の研究を推進し、ここで得られた基盤研究、学術研究の成果をもとに、感染症の克服へ向けての貢献を目指します。

オンライン (YouTube) 参加はこちら→

<https://kc-i.jp/activity/chogakko/cider/detail20210827.php>



主催 | CiDER (大阪大学感染症総合教育研究拠点), 一般社団法人ナレッジキャピタル

問い合わせ

大阪大学感染症総合教育研究拠点 事務室

☎ 06-6879-4903

✉ kansensyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp

🌐 <https://www.cider.osaka-u.ac.jp/index.html>

CiDER WEBサイトはこちら→

